学校番号	T0110

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
レポート	6 通以上	スクーリング	10 回以上	テスト	1 回以上		
使用教科書	地基 310 「高等学校 改訂　地学基礎」 第一学習社						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育てるために、毎時間の授業で、常に目的意識を持って受けることが望ましい。
・授業の中だけでなく、日常生活の中の様々な場面で、知識を活用する力や新しい見方を得ることにより、豊かな考え方、感じ方を身に付ける。

2　学習の到達目標

観察、実験を可能なかぎり行い、地震や気象、天体、環境問題について関心や探究心を高め、基本的な概念や原理・法則を理解させ、さらに災害時の適切な行動に結びつける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物･現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。	地学的な事物･現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的･総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	授業に向かう姿勢 内容に関する関心 提出物の提出状況 自己評価	定期考査 小テスト 提出物	課題解決学習の発表 グループワークの取り組み 学習の取り組みをまとめたレポート 提出物	実験器具などの取り扱いの状況 グループワークの取り組み 学習の取り組みをまとめたレポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	太陽系の中の地球	・太陽系の誕生 ・太陽系の構造 ・地球型惑星 ・木星型惑星	○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○	a:地球や惑星の運動，太陽系の構成について興味を持ち，観察や実験を行いながら積極的に学習しようとする。 b: 地球や惑星の運動について科学的に思考することができ，太陽系の構成とその特徴について判断できる。 c: 金星の満ち欠けの様子や土星の輪や木星の衛星を確認できる。 d: 太陽系とそれを構成する惑星についての知識を身につけ，地球と太陽系の天体の運動について理解できる。	中間考査 ファイル 提出物
	宇宙における地球	・宇宙の始まり ・宇宙の広がりと銀河の分布 ・太陽の構造 ・太陽の組成 ・太陽の誕生と将来	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	a: 星空の観察から星や宇宙について関心を深め，星の構造や進化，宇宙の成り立ちについて積極的に学習しようとする b: 宇宙・地球・生命を構成する元素を比較することで，地球・生命がどのように形成されたかを推測できる。 c: 宇宙が膨張していることを，モデルを使って確かめることができる。 d: 星までの距離や星の性質などの知識を身につけ，星の構造や進化，宇宙の構造や成り立ちなどについて理解できる。	期末考査 ファイル 提出物
後期	地球の姿	・地球の形と大きさ ・地球の内部構造 ・地球の構成物質 ・プレートの収束	○ ○ 	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a: 地球の形と大きさについて，実際の形や大きさはどうなのか，興味を持って意欲的に学習しようとする。 b: 地球の概要について具体的に把握できる。 c: 岩石や鉱物を判別する方法を習得するとともに，それらの結果を適切に表現できる。 d: 地球内部の構造について認識できるとともに，地球表層や地球内部の運動についてその原理も含めて理解できる。	中間考査 ファイル 提出物
	火山活動と地震	・火山の分布 ・火山の噴火 ・地震が発生するしくみ ・地震の動き	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a: 地球内部のエネルギーの放出現象として，火山や地震に意欲的に学習しようとする。 b: 火山活動や地震が，地球内部のエネルギーの極めて短時間での放出現象であると考えることができる c:地震のデータをもとに，震源を探る方法，地下の様子を探る方法などについて習得し，結果を図や表を用いて表現できる。 d:火山や地震などの地質現象について基本的な知識を身につけることができる	中間考査 ファイル 提出物

	地球の熱収支	・大気の構成 ・大気圏の特徴 ・太陽放射と地球放射 ・大気の大循環 ・海洋の構造	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○	a: 太陽放射のエネルギーが源となり，大気が垂直方向に循環し，雲や雨などの気象現象が引き起こされていることを推定できる。 b: 大気の水平方向の運動により，地球規模での大気の循環が起こり，さまざまな気象現象が出現することを推定できる。 c: 日射量の測定方法を習得し，昼と夕方の日射量の違いを調べたり，霧の発生の実験を行うことを通して実験の技能や結果の整理法などを自らのものにすることができる。 d: 大気の水平方向の循環について把握し，高緯度から低緯度への熱の輸送が行われていること，毎日の天気の変化など日常生活と密接に関連していることが分かる。	期末考査 ファイル 提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。